session





アジェンダ

- webの仕組み(復習)
- セッション機能
- 認証処理の実装
 - ログイン処理
 - ログアウト処理
- 課題発表→チュータリング(演習)タイム



授業のルール

- 授業中は常にエディタを起動!
- 考えたことや感じたことはzoomチャットでガンガン発信!
- 質問はslackへ! 他の人の質問にも目を通そう! (同じ質問があるかも)
- 演習時、できた人はスクショなどslackに貼ってアウトプット!
- まずは打ち間違いを疑おう!
 - {}'";など
- 書いたら保存しよう!(よく忘れる!)

```
command + s
```

```
ctrl + s
```



PHPの準備

- XAMPPの起動確認
- http://localhost/のアクセス確認
- サンプルフォルダを「htdocs」フォルダに入れる



今日のゴール

- ページ間でデータ共有する方法を知る!
- データの管理方法を学ぶ!
- ログイン&ログアウト処理を実装する!

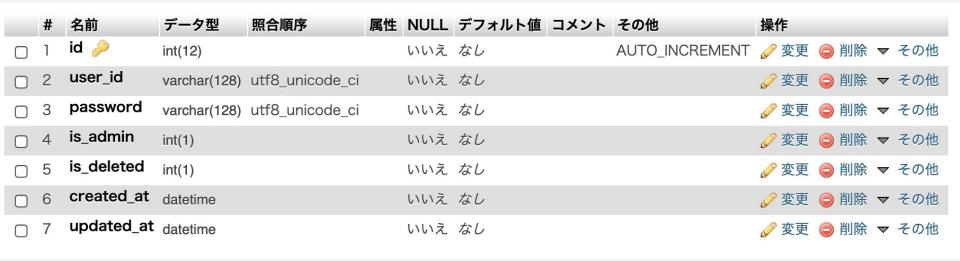


前回の課題



【課題2】ユーザ管理機能の作成

- ユーザ管理テーブル(←必ず作成, DBはこれまでのものを使用)
 - テーブル名: users_table
- カラム名など





【課題2】ユーザ管理機能の作成

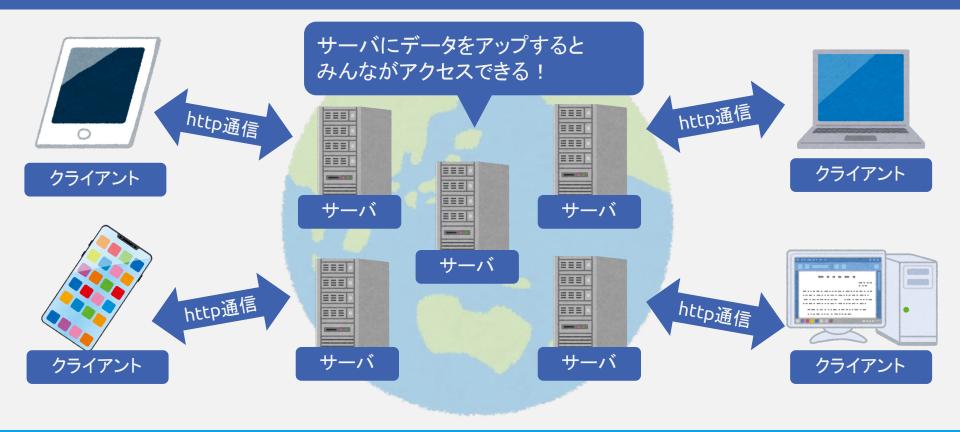
- 前スライドでつくったユーザのデータを管理する処理を実装!
 - ユーザ追加処理
 - ユーザー覧表示処理
 - ユーザデータ更新処理
 - ユーザデータ削除処理
 - (サービス管理者がユーザのデータを操作するイメージ)
- 課題1と課題2はそれぞれ独立でOK!



webの仕組み(復習)



雑なwebの仕組み



URL

- ■URLとは
 - web上にある情報(ファイル)の場所を指し示す住所.
 - Uniform Resource Locatorの略(覚えなくてOK).

■例





サーバサイド言語の仕組み

※ 言語によらず、ファイル(プログラム)はサーバ上に存在



送られてきたhtmlを実行



- 処理した結果のデータ
- 構成したhtml



データベース(DB)の動き方

サーバ上のプログラムがDBにアクセスして処理を実行!



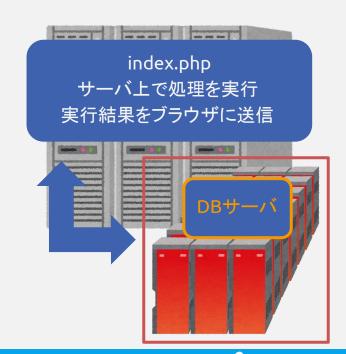
送られてきたhtmlを実行

- こういう情報がほしい
- こういう処理をしたい 例:index.phpにアクセス

http通信

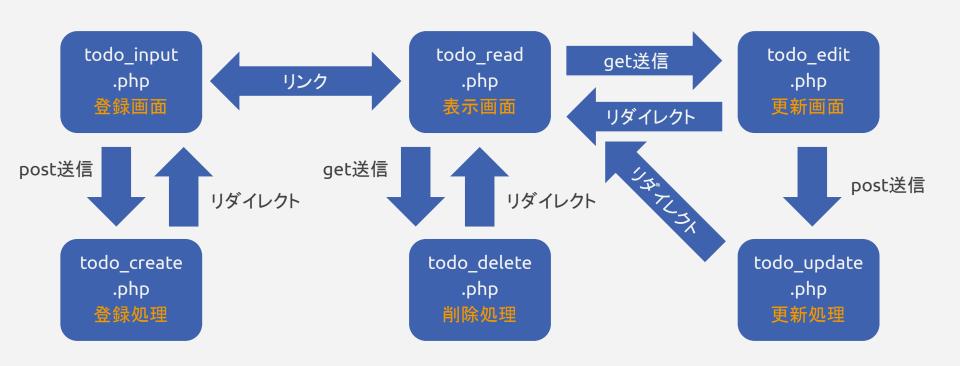
http通信

- 処理した結果のデータ
- 構成したhtml





todoアプリの全体像



セッション機能

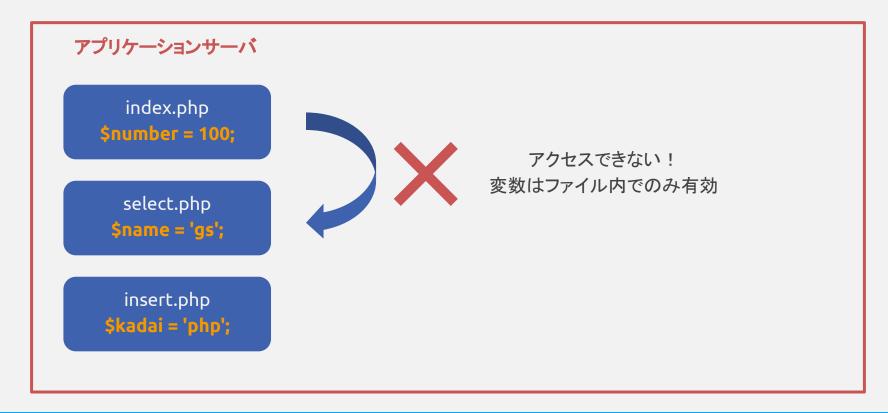


- 何か??
 - サーバに変数などを保存できる仕組み.

.....以上である!

- 補足
 - サーバ自体に変数を定義する.
 - サーバ上にあるどのファイルからでも値を取り出せる!







```
アプリケーションサーバ
  todo_input.php
                                            セッションの領域
                          アクセス!
  $number = 100;
                                            ■session id
  todo read.php
                                            ■session変数($ SESSION)
                          アクセス!
   $name = 'gs';
                                              $_SESSION['num'] = 100;
                                              $_SESSION['name'] = 'gs';
  todo create.php
                          アクセス!
  $kadai = 'php';
```



session_id



- sessionを始める
 - sessionがスタートすると「session領域」が作られる.
 - session領域識別用のid(session_id)が発行される.
 - sessionの機能が使えるようになり、情報を保存できる.
- session_idの再生成ができる
 - 悪意あるサイトにsession_idを読まれてしまうとハッキングのリスク.
- sessionを終了する
 - 保存されている情報などを破棄する.



sessionでやることの流れ

- sessionのスタート
 - session_idの管理, 必要に応じて\$_SESSION(session変数)にデータを保存.
- session_idの再生成
 - ページ移動などのタイミングでidを更新する.
- sessionの終了



- -まずはsessionを宣言
 - session_start(); ←使用するファイルでは必ず最初に記述する!
 - idが発行されてブラウザにidが保存される.
- idの確認方法
 - ①PHPファイル上でsession_id();で取得可能.
 - ②ブラウザで「検証→Application→Cookies→localhost」

- session_regenerate_id();
 - sessionのidがバレると他の人にsessionの中身をいじられてしまう可能性...!
 - session_regenerate_id();を使用するとidを再生成して更新できる.
 - (保存されているデータ自体は変更なし)
- 使い所
 - ログインしたらid発行してログイン情報を管理.
 - ページ移動したタイミングで再生成&更新

- 練習
 - idを発行して確認しよう!
 - 再生成して旧idと新idを表示しよう!



session変数



```
// サーバに保存されている変数を取り出す.
// 例
<?php
session start();
                         // 必須!
                      // session変数を+1する
$ SESSION['num'] += 1;
                      // 結果を出力
echo $ SESSION['num'];
?>
// session02.phpでは変数を定義していないが、セッションの機能で呼び出せる!
```



- 練習
 - session01.phpでsession変数を定義しよう!
 - session02.phpで定義した変数を呼び出して出力しよう!

sessionの終了



sessionの終了(情報の破棄)

```
// session変数の削除
                             // 該当するsession変数を削除
unset($ SESSION[key]);
// session情報の全削除
                       // 情報を全て削除
$ SESSION = array();
setcookie(session name(), '', time() - 42000, '/');
// sessionを破壊
session destroy();
// 参考: <a href="https://www.php.net/manual/ja/function.session-destroy.php">https://www.php.net/manual/ja/function.session-destroy.php</a>
```



認証処理



認証(ログイン&ログアウト)の全体像

- 必要なファイル

- todo_login.php ログイン情報(id, pwd)を入力して送信

- todo_login_act.php 送信されたデータを受け取り、DB関連の処理を実行

- todo_logout.php セッション, ログイン情報の破棄



ログイン処理



ログイン処理の流れ

- ログイン
 - ①ログインフォーム情報を入力して送信(todo_login.php)
 - ②送信されたデータを受け取る(todo_login_act.php)
 - ③受け取ったデータがDBにあるかどうかチェック(todo_login_act.php)



ログイン処理の流れ

- 成功時(DBにユーザのデータが存在した場合)
 - ①DBにログイン情報があればセッション変数に格納(todo_login_act.php)
 - ②セッション変数にログイン情報を保持してtodo_read.phpに移動
- 失敗時(DBにユーザのデータが存在しなかった場合)
 - ①DBにログイン情報がなければtodo_login.phpに戻る(ログイン失敗)



```
<form action="todo_login_act.php" method="POST">
    <div>
     user id: <input type="text" name="user id">
    </div>
    <div>
     password: <input type="text" name="password">
   </div>
    <div>
     <button>Login
   </div>
</form>
```



```
// DBにデータがあるかどうか検索
$sql = 'SELECT * FROM users table
         WHERE user id=:user id
           AND password=:password
                                       WHEREで条件を指定!
           AND is_deleted=0';
$stmt = $pdo->prepare($sql);
$stmt->bindValue(':user_id', $user_id, PDO::PARAM_STR);
$stmt->bindValue(':password', $password, PDO::PARAM_STR);
$status = $stmt->execute();
```



```
// DBのデータ有無で条件分岐
$val = $stmt->fetch(PDO::FETCH_ASSOC); // 該当レコードだけ取得
if (!$val) {
  echo "ログイン情報に誤りがあります. ";
  echo '<a href="todo_login.php">login</a>';
  exit();
}
...
```

ログアウト処理



```
// セッションの破棄→ログイン画面へ移動
<?php
                               // セッションの開始
session start();
                               // セッション変数を空の配列で上書き
$ SESSION = array();
if (isset($ COOKIE[session name()])) {
 setcookie(session name(), '', time()-42000, '/');
                               // クッキーの保持期限を過去にする
                           // セッションの破棄
session destroy();
header('Location:todo_login.php');// ログインページへ移動
exit();
```

ログイン状態のチェック



ログイン状態のチェック

- ログインしているときのみアクセスできるように!
 - 登録画面, 一覧画面などはログインしているユーザのみ見られるようにしたい
 - ログインをチェックし、ログインしていない状態ならログイン画面に移動
 - 「session_idを持っていない」or 「idが古い」はログインしていない状態

- 複数のファイルでチェックを行うため、関数ファイルに記述しよう!



```
// ログインしているかどうかのチェック→毎回id再生成
function check session id () {
 // 失敗時はログイン画面に戻る(セッションidがないor一致しない)
 if (!isset($ SESSION['session id']) ||
    $ SESSION['session id']!=session id()) {
   header('Location: login.php'); // ログイン画面へ移動
 } else {
                                    // セッションidの再生成
   session regenerate id(true);
   $_SESSION['session_id'] = session_id(); // セッション変数に格納
```

ログイン状態のチェック

```
// 各ページ読み込み時にログインチェック
<?php
                        // セッションの開始
session start();
                        // 関数ファイル読み込み
include('functions.php');
                           // idチェック関数の実行
check session id();
// 下記ファイルで実施
// index.php, select.php, detail.php
// ログインしていない状態でアクセスしようとするとログインページへ移動
```



課題



これまでのアプリにログイン機能を追加

- 下記処理を追加しよう!
 - ログイン画面
 - ログイン処理
 - ログアウト処理
- ユーザの種類によって権限を分けてみよう
 - ログインしていないユーザ →情報を見るだけ(登録, 更新&削除不可)
 - 一般ユーザ

→情報の登録,表示,更新,削除が可能

- 管理者ユーザ

→ユーザの登録,表示,更新,削除も可能



例(todoアプリの場合)

- ログインしていないユーザがアクセス可能な画面
 - ログイン画面
 - 編集不可のtodo一覧画面



例(todoアプリの場合)

- 一般ユーザがアクセス可能な画面
 - ログイン画面
 - 編集不可のtodo一覧画面
 - todo一覧画面
 - todo登録画面
 - todo編集画面



例(todoアプリの場合)

- 管理者ユーザがアクセス可能な画面
 - ログイン画面
 - 編集不可のtodo一覧画面
 - todo一覧画面
 - todo登録画面
 - todo編集画面
 - ユーザー覧画面
 - ユーザ編集画面
 - ユーザ編集画面



これは...もうwebサービスつくれるぞ!!



提出は次回授業前まで!!



P2Pタイム

まずはチーム内で解決を目指す! 訊かれた人は苦し紛れでも応える!!

